

OPEN SOUND DATA 京阪 6000 系

操作説明書

2022/01/06

1. はじめに

京阪 6000 系は 1983 年に製造開始された車で、現在の京阪主力系列です。
界磁位相制御に HRD-1R 回生ブレーキ併用電気指令式ブレーキ装置が採用されており、最高速度 110km/h で運転されます。
2600 系と同じ 155w 東洋電機製 TDK-8135A モーターの奏でる走行音は国鉄 201 系に似た感じがあり、再現された中高速度からの減速サウンドの変調やキレのあるブレーキ緩解音やなども見どころです。
音源は 1989 年録音当時のもので、当時の懐かしい旧乗降促進ブザー・始発駅発車メロディーも収録しています。
界磁位相制御車両なので、加速中速度以降は加速ノッチタイムラグと LB 動作音を省略してあります。

2. 対応機種

ESU 社 LokSound V5, 5 micro
※LokSound 4、LokSound Select には使用できません。

3. ファンクション一覧

F0	ヘッドライト・テールライト	
F1	パンタ上げ・MG・走行音・	
F2	警笛	
F3	ー	
F4	ー	
F5	非常制動	約 30%高減速度
F6	力行保ち/抑速	※後述する操作手順有り
F7	音量	
F8	レールジョイント	
F9	ー	
F10	フレンジ	
F11	手笛/ベル省略	※後述する操作手順有り
F12	開扉→乗降促進→閉扉	旧乗降促進ブザー
F13	開扉→発車案内→閉扉	旧メロディー + 旧乗降促進ブザー
F14	開扉→ベル→閉扉	旧乗降促進ブザー
F15	CP 強制起動	
F16	電制切	

F17	フラット	
F18	ー	
F19	空気ばね	
F20	ブレーキスキール音 OFF	
F21	発車後案内放送	八幡市 車両速度と連動
F22	到着前案内放送	八幡市 車両速度と連動

4. 詳細な操作方法

4.1. F 6 力行保ち/抑速

惰行中に F6 を ON してからスロットルを上げると力行保ち、スロットルを下げると抑速ブレーキになります

4.2. F1 1 強制閉扉

ドア開閉音操作の時に手笛を省略する為に使います。

4.3. F1 2 ドア開閉音

F12, ドア開閉音操作は走行中に ON にしておけば停止と同時にドア開き音が出ます。

ドア開き停車中ではスロットルを上げても起動しないようになっています。

ドア開き停車中に予めスロットルを上げておけばドア閉め後に自動的に起動を開始します。

5. 著作・連絡先

本データの著作権は以下の制作者が有します。

- ・MB3110A
- ・うえだねじろう

OPEN SOUND DATA のホームページを参照して下さい。

<https://desktopstation.net/sounds/>



以上